

## 農林水産省行政情報システムの運用管理業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

業務内容: コンピュータシステムの運用管理業務

契約期間: 平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 3 か年

2. 実施状況に関する評価

○ 確保されるべき質として設定された以下の項目すべてを達成している。

(1) ヘルプデスク利用者満足度調査

ヘルプデスクの利用者に対する満足度のアンケート調査を実施し、その結果の基準スコア（75点）以上を維持すること。

(2) システムの可用性

計画的な停止時間を除き、主要サービスである「メールサービス」、「インターネット接続サービス」及び「ファイル共有サービス」の稼働率は、各月ごとに99.9%以上であること。

(3) 目標復旧時間

主要サービスの稼働率を踏まえた各サービス毎の目標復旧時間は、1か月当たり40分程度であること。

(4) 業務の内容

対象公共サービスの内容に示す運用管理業務を適切に実施すること。

○ 民間の創意工夫に関しても、民間事業者から電子掲示板を使った業務関係者間の情報共有化による運用管理の強化、繁忙期に要員の増員及び人事異動者への利用者操作マニュアルの参照先をPC画面に表示する仕組み等の改善提案がなされ、業務改善を図ることができ、良好に業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、単年度当たり 153,776 千円であり、従来の実施経費（単年度当たり 131,768 千円: 市場化テスト実施直前の平成 24 年 4 月～25 年 3 月）と比べて、22,008 千円（16.7%）の経費が増加している。その要因として一部ソフトウェアのメジャーバージョンアップ対応とセキュリティ対策強化のため運用業務常駐要員を 1 名増員したこと等があげられる。

4. 今後の事業

本事業は、実施状況が良好であるが、一者応札となっており、次期調達については地方支分部局等の LAN システムを統合するなどの業務内容の変更が予定されていることから、競争性改善策を講じつつ市場化テストを継続して実施することが適当であると考えられる。